

「本との豊かな出会いの場、進路実現の場としての図書館を目指して」

1 学校の概要

- ①福島市浜田町12番21号
- ②18クラス・715人（令和4年5月1日現在）
- ③27,964冊（令和4年5月1日現在）

2 取り組みの内容

- (1) 魅力ある書架編成
- (2) 生徒・教職員への情報提供、授業等との連携
- (3) 公開文化祭への参加

(1) 魅力ある書架編成

使いやすい書架編成を考え、学校図書館の資料としては古すぎる図書や、汚損・破損した図書を除籍・廃棄する作業を継続している。書架スペースにゆとりを確保し、図書の表紙を見せるエリアを設け、利用の多いテーマを別置する等の工夫をしている。

利用の多い進路関係の図書については、常設のコーナーを設け、職業・資格案内の本、大学の学部紹介本、小論文・面接対策本、勉強法の本などを、テーマごとに配架し、利便性の向上に努めている。

購入図書については、楽しい読書のための図書、進路実現に資する図書を中心に、現代小説、時事問題関係、新書等々をバランスを考え選書している。SDGs関連、東日本大震災関連の図書は、通常の課題以外に、大学入試対策としても利用が多く、図書予算の制約はあるが、新しく出版された図書の購入に努めている。

(2) 生徒・教職員への情報提供、授業等との連携

生徒向け「図書だより」を発行し、新着図書や特集コーナー、イベントの紹介を行っている。紙媒体で生徒全員に配布し、2021年4月からは、学校のHP上でも閲覧できるようにした（※）。

教職員向けには「新着本ガイド」を発行している。「新着本ガイド」を見て本を借りに来館する教職員も少なくない。

また、授業や課題に関するテーマを事前に知らせてもらい、それに沿った図書を別置し、利用の便宜を図っている（例：修学旅行、探究学習、保健体育の授業等々の関連コーナー設置）。

今年度は、2学年の国語の授業で図書館の利用があり、その後、2学年の生徒の利用（来館回数、貸出冊数）が増加した。

生徒や教職員からの問い合わせ（所蔵調査等）には、できるだけ速やかに対応し、未所蔵本については、購入もしくは公共図書館の所蔵等を提示して対応するなど、何らかの解決に至るよう努めている。

※ [トップページ - 福島県立福島東高等学校 \(fcs.ed.jp\)](https://fcs.ed.jp) → 「校内刊行物」 → 「図書だより」

(3) 公開文化祭への参加

令和4年度の公開文化祭（東桜祭）で、図書委員会は、図書館にて、本の紹介の展示を行った。「図書委員のイチオシ本はこれだ！ 展示&休憩所」と題して、委員それぞれが自分のオススメの本について紹介文を書き、実際の本と一緒に、図書館内に展示した。展示スペース以外は、休憩所として開放し、館内を自由に見て廻れるようにした。

展示は大好評で、当日の入館者259人のうち、東高の生徒や教職員は105人。館内の映画の原作コーナーやマンガコーナー、進路実現コーナーなどを見る生徒もいて、楽しくて役に立つ図書館の雰囲気をもPRできた。



公開文化祭（東桜祭）の様子